

淀川流域委員会への意見

いつもご苦労様です。以下に私の意見を書いておきます。

1. 2年前の基礎案が今回の原案でどのように反映されているのかさっぱり分かりません。誰もが分かるようなまとめ方はできませんか。また6年間委員会で議論したことがどう生かされているのかもさっぱり分かりません。
2. 新委員による委員会も発足しましたが、特に新委員には6年間の成果を熟読して勉強して欲しいと思います。基礎知識がない状態で委員会に望むことは許されません。
3. 委員会としてか河川管理者としてかどちらでもいいですが、これまでに審議した成果を国民にわかりやすく体系化して示す必要があると思います。傍聴者のほんの数人からしか意見がでないのは傍聴者の誰もが真剣に過去の資料に目を通していないからだとおもいます。体系的にまとめられていないから一部の人しか発言できないのです。膨大な資料は放置すれば宝の持ち腐れです。
4. 今回で最終回ということですが、2回の委員会からも基本的な考え方というか理念が見えてきません。具体例は示されていますが、全体がどうなっているのかさっぱり分かりません。第2回委員会で「台風に対する備えは出来ているのか」と河田委員が言われているようなことがまだまだ未検討課題はないでしょうか。
5. 委員会が12月末までに答申というのか、文書にして回答するのでしょうか。その後は委員会もなくて施策は河川管理者の恣意的な執行に委ねられるのでしょうか。本来整備計画ができて事業として施行段階で国民と協働で「かわづくり」をすべきではないでしょうか。いわゆるPDCAを国民と河川管理者と協働してまわして行くことが大切かと思います。

以上私の意見を述べておきます。

松 倉 孝 夫